



資料提供

(県政)



【調査手法等】

提供年月日: 令和4年(2022年)2月 22 日
所属名: 知事公室広報課県民の声係
担当者名: 倉本、堀口
内線: 3045
電話: 077-528-3045

【調査結果等】

提供年月日: 令和4年(2022年)2月 22 日
所属名: 琵琶湖環境部循環社会推進課
ごみゼロ支援係
担当者名: 井上
内線: 3477
電話: 077-528-3477

令和3年度第6回「しがwebアンケートプラス調査」

(県内向け調査)の結果について

1 調査の目的

県政における喫緊の課題や重要事項について、インターネットを活用し適時迅速に県民の意識や意向を調査し、速やかに県の方針や県政運営に反映させるための基礎資料とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内在住の満 18 歳以上の個人
(2) 標本数 500 人
(3) 調査方法 インターネットを利用し、パソコン、スマホ等により回答するWEB調査
(4) 調査期間 令和4年 1 月 28(金)~ 2 月 4 日(金)
(5) 調査会社 株式会社都市設計総合研究所

3 調査項目

マイボトルおよびプラスチック製品に関する調査

4 主な調査結果

Q1 あなたはマイボトルを使っていますか。(答えは1つ)

※「マイボトル」とは、自分用の飲み物を入れて携帯する水筒を指します。新品のペットボトル飲料を飲み干した後のペットボトルの使い回しは、含みません。

- 1 位:日常的に使っている 36.4%
2 位:マイボトルを持っていない 26.6%
3 位:時々使っている 17.8%

4 位:マイボトルを持っているが、使っていない	10.8%
5 位:あまり使っていない	8.4%

- ・「日常的に使っている」と回答した人は 36.4%と一番多くなっており、次いで「マイボトルを持っていない」の 26.6%、「時々使っている」の 17.8%となっており、頻度に関わらず使っていると回答した人は 54.2%と、半数を超える。
- ・性別でみると、「日常的に使っている」と回答した人は、男性が 27.8%に対し、女性は 49.5%、また、「マイボトルを持っていない」と回答した人は、男性が 34.1%に対し、女性は 15.2%となっており、女性の方がマイボトルを所有して使用する人が多い。

Q2 Q1で「1. 日常的に使っている」または「2. 時々使っている」を選択された方にお尋ねします。

あなたは、外出先で、マイボトルに飲料※を補充したことがありますか。(答えは1つ)

※「飲料」はペットボトルや缶入りではない飲料

1 位:補充したことがない	54.2%
2 位:補充したことがある	45.8%

- ・「補充したことがない」と回答した人は 54.2%と半数を超えている。
- ・「補充したことがある」と回答した人のうち、30 歳未満では 62.5%、30 歳代では 55.6%、60 歳以上では 35.8%と、若年層がマイボトルを有効に活用していることが窺える。

Q3 Q1で「3. あまり使っていない」、「4. マイボトルを持っているが、使っていない」または「5. マイボトルを持っていない」を選択された理由は何ですか。(答えはいくつでも)

1 位:使う場所がない、または限定されているから	34.9%
2 位:マイボトルの利用に関心がないから	31.0%
3 位:補充することが煩わしいから	17.9%
4 位:重いから	14.4%
5 位:かばんなどに入らない大きさだから	10.0%
その他	10.0%

- ・「使う場所がない、または限定されているから」と回答した人が 34.9%と最も多く、次いで「マイボトルの利用に関心がないから」の 31.0%、「補充することが煩わしいから」の 17.9%となっている。
- ・性別でみると、「使う場所がない、または限定されているから」と回答した人は、男性が 28.6%に対し、女性は 52.5%、また、「マイボトルの利用に関心がないから」と回答した人は、男性が 36.9%に対し、女性は 14.8%となっており、女性の方がマイボトルに関心がない人は少ないが、使用する場面を気にかける人が多いことが窺える。
- ・「その他」と回答した人は 10.0%で、そのうち、ペットボトルを再利用しているから、と記載した人は 30.4%であった。

Q4 あなたは、マイボトルに飲料を補充できる施設・サービスに関する情報を見聞きしたことがありますか。(答えは1つ)

1 位:見聞きしたことがない	67.6%
2 位:見聞きしたことがある	32.4%

- ・「見聞きしたことがない」と回答した人のうち、50歳代では71.4%、60 歳以上では 77.6%

と70%を超えている。

Q5 Q4で「1. 見聞きしたことがある」を選択された方にお尋ねします。あなたがよく行く外出先またはその近くに、マイボトルに飲料を補充できる施設・サービスがありますか。(答えは1つ)

1 位:ある	42.6%
2 位:ない	38.3%
3 位:わからない	19.1%

- ・「ある」と回答した人は42.6%となっており、「ない」と回答した人は38.3%となっている。
- ・「ある」と回答した人のうち、30歳未満の人は65.7%となっており、若年層が立ち寄る場所に、補充できる施設・サービスが普及している可能性がある。

Q6 あなたは、買い物の際に、プラスチック製のレジ袋(レジ袋有料化対象品・非対象品を問いません)をもらっていますか。(答えは1つ)

1 位:まったくもらっていない	55.0%
2 位:あまりもらっていない	25.8%
3 位:時々もらっている	15.0%
4 位:常にもらっている	4.2%

- ・「まったくもらっていない」と回答した人は55.0%、次いで「あまりもらっていない」の25.8%などとなっている。
- ・「まったくもらっていない」と回答した人のうち、50歳以上では、60%以上となっている。
- ・「常にもらっている」と回答した人は4.2%とわずかであるが、30歳以上の世代では5%以下であるのに対し、30歳未満では、10.7%となっており、若年層では若干高くなっている。

Q7 あなたは、コンビニ等で食品・飲料を購入する際に、プラスチック製のフォーク、スプーン、ナイフ、マドラーやストロー(どれか1つだけでも)を受け取っていますか。(無料か有料かは問いません。)(答えは1つ)

※「マドラー」とは飲み物をかき混ぜる棒を指します。

1 位:時々受け取っている	31.8%
2 位:まったく受け取っていない	27.8%
3 位:あまり受け取っていない	26.6%
4 位:常に受け取っている	13.8%

- ・「時々受け取っている」と回答した人は31.8%と、最も多くなっている。
- ・「まったく受け取っていない」と回答した人は27.8%となっており、Q6でレジ袋を「まったくもらっていない」と回答した人の55.0%と比較すると、ほぼ半数となっている。
- ・「まったく受け取っていない」と回答した人のうち、60歳以上では、38.0%となっている。
- ・「常に受け取っている」と回答した人は13.8%であるが、30歳未満では、20.0%と、若年層では若干高くなっている。

Q8 あなたは、ホテルや旅館等を利用した際に、備え付けのプラスチック製のヘアブラシや櫛、剃刀、シャワー用キャップ、歯ブラシ(どれか1つだけでも)を使用していますか。(答えは1つ)

1 位:時々使用している	33.6%
2 位:常に使用している	32.0%
3 位:あまり使用していない	16.8%
4 位:ホテルや旅館等を利用しない	12.8%
5 位:まったく使用していない	4.8%

・「時々使用している」と回答した人は 33.6%と最も多く、次いで「常に使用している」の 32.0%となっている。

・「まったく使用していない」と回答した人は 4.8%にとどまっており、プラスチック製のフォークやナイフなどを「まったく受け取っていない」と回答した人と比べて、1/5 程度とかなりの少数派となっている。

Q9 あなたは、クリーニング店等で、クリーニング済みの衣類等をビニールカバーに入れられた状態で受け取っていますか。(答えは1つ)

1 位:常にビニールカバーをつけたまま、受け取っている	58.6%
2 位:クリーニングを利用しない	29.0%
3 位:時々ビニールカバーを外して、受け取っている	8.0%
4 位:常にビニールカバーを外して、受け取っている	4.4%

・「常にビニールカバーをつけたまま、受け取っている」と回答した人は 58.6%と最も多く、半数以上を占めている。この理由として、環境面への配慮よりも衛生面を重視し、カバーをつけたまま受け取っている可能性がある。

・「常にビニールカバーを外して、受け取っている」と回答した人は 4.4%にとどまっている。

・「クリーニングを利用しない」と回答した人は 29.0%となっており、そもそもクリーニングを利用しない人も相当数に上っており、特に30 歳未満では 37.3%と、その傾向が顕著である。

Q10 Q9で「1. 常にビニールカバーをつけたまま、受け取っている」、「2. 時々ビニールカバーを外して、受け取っている」または「3. 常にビニールカバーを外して、受け取っている」を選択された方にお尋ねします。

あなたは、クリーニング店等で、クリーニング済みの衣類等をハンガー付きで受け取った際、ハンガーはどのように処理していますか。最も多い方法をお答えください。(答えは1つ)

1 位:ハンガー付きで受け取って、ハンガーは自宅などで再利用している	61.7%
2 位:ハンガー付きで受け取って、ハンガーは後日お店に返却している	16.1%
3 位:ハンガーはお店に返却して、受け取っている	11.0%
4 位:ハンガー付きで受け取って、ハンガーはごみとして処理している	6.8%
5 位:ハンガー付きでない仕上げで受け取っている	4.2%
6 位:ハンガー付きで受け取って、ハンガーはその他の処理をしている	0.3%

・「ハンガー付きで受け取って、ハンガーは自宅などで再利用している」と回答した人は 61.7%と最も多く、次いで「ハンガー付きで受け取って、ハンガーは後日お店に返却している」の 16.1%となっている。

・「ハンガー付きで受け取って、ハンガーはごみとして処理している」は 6.8%にすぎず、再利用する、または返却するといった人が、大半を占めている。

Q11 使い捨てプラスチックを削減するために、効果があると考えられる方法や施策などについて、自由に提案・記載してください。(自由記述)

500名のうち、271名の方(54.2%)からご意見をいただき、プラスチック製品の存在を前提として、再利用や有料化、ポイント付与などにより削減すべき、素材変更や使用禁止などプラスチック製品そのものの製造を規制すべきといったご意見に大別された。

- ・再利用やリサイクルを挙げた人は27人であった。
- ・紙製への素材変更を挙げた人は27人であった。
- ・有料化を挙げた人は26人であった。
- ・過剰包装の中止、梱包素材の見直しを挙げた人は24人であった。
- ・ポイント付与を挙げた人は16人であった。
- ・容器を持参した量り売りへの変更を挙げた人は7人であった。
- ・エコバッグ持参を挙げた人は6人であった。
- ・土壌に分解される素材の利用を挙げた人は6人であった。
- ・木製への素材変更を挙げた人は5人であった。
- ・使用禁止を挙げた人は5人であった。
- ・デポジット制の普及を挙げた人は5人であった。

